

県立広島大学教員活動情報

所属学部等	生命環境学部	生命科学科	専攻	生命システム科学専攻
職氏名	教授	山田 學		
専門分野	動物資源学	生理学	動物血液学	血液凝固

1. 教育活動 (平成19年度)

(1)担当科目(学部)	生理学 実験動物学	専門基礎実験	卒業論文	フレッシュマンセミナー
(大学院)	分子生理学	分子生理学		
(2)教育関係 特記事項				

2. 研究活動 (平成17～19年度)

(1)論文等	Abnormal spermatogenesis in mice unable to synthesize ascorbic acid. F Yazama, K Furuta, M Fujimoto, T Sonoda, H Shigetomi, T Horiuchi, M Yamada, N Nagao, N Maeda, Anat. Sci. Int. 81, 115-125, 2006.	平成18年6月
	Carbonic anhydrase isoenzyme 1(CA-1) concentration in feces and urine as a temporary marker of occult blood in beagle dogs. K Iguchi, K Kawato, T Seita, T Kuribayashi, T Shimada, M Matsumoto, Y Yamamoto, M Yamada, S Yamamoto. Exp Anim. 56, 43-49, 2007.	平成19年1月
	Erythrocyte migration and gap formation in rabbit blood clots in vitro. T Ueki, F Yazama, T Horiuchi, M Yamada. Vet Res Commun 32, 315-323, 2008.	平成19年12月
(2)著書		
(3)学会発表等	ウサギのストレプトゾトシン誘発糖尿病における血液凝固機能の変動。 142回日本獣医学会、開催：山口	平成17年9月
	「プラスミノゲンアクチベーター」, 第5回学術フロンティア・ハイテクリサーチシンポジウム講演、開催：東京	平成18年1月
	Coagulation factor is possibility responsible to an early diagnosis of diabetes. M Yamada, A Fushimi, N Matsuoka, T Ueki, F Yazama, T Horiuchi, S Yamamoto. XIIth Cong. Int. Soc. Anim. Clin. Biochem. 開催：トルコ/イスタンブール、2006/5.	平成18年5月
(4)工業所有権等	治癒促進材料、治癒促進用具、治癒促進装置、治癒促進組成物(特願2005-92150、特開2006-271533)財団法人ひろしま産業振興機構 発明者：山田 學 外2名。	
	血栓の溶解を抑制させるポリペプチド及びその利用(特願2004-380900、特開2006-180841)出願人：広島県 発明者 山田 學 外4名	
(5)外部資金採択状況	科学研究費補助金(代表)	件
	科学研究費補助金(分担)	2件
	その他外部資金	1件
(6)研究関係 特記事項		

3. 地域貢献活動 (平成19年度)

(1)審議会等委員	日本獣医学会評議員	平成20年4月-平成22年3月
(2)公開講座等	Indonesia-Japan one day seminar 大学間交流協定締結に伴う記念セミナーH19/9/20 庄原実業高校デュアルシステム 3名の高校生に対し、2コマ/日の講義及び実習を7日行った	
(3)地域貢献 特記事項		

4. 大学運営活動 (平成19年度)

(1)学内委員等	キャリアセンター運営委員会委員	地域連携センター国際交流部会委員会委員
	庄原キャリアセンター運営委員会委員	学生支援部門会議
	実験動物倫理委員会	
(2)大学運営 特記事項	平成19年度はアンダラス大学(インドネシア・西スマトラ)と大学間学術交流協定の締結するに至った一連の活動に参加した。その後、大学院博士課程後期にこの協定を利用してアンダラス大学の教員2名が入学した。	

以上は、主要な活動について掲載しています。